

# 地域再生計画

## 1. 地域再生計画の名称

住みよいまち『おおよど』再生計画（豊かな緑と清流の保全・活用）

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県吉野郡大淀町

## 3. 地域再生計画の区域

奈良県吉野郡大淀町の区域の一部（詳細は、別紙による）

## 4. 地域再生計画の目標

大淀町は、紀伊半島のほぼ真ん中に位置し、東西約11km、南北約5km、面積38.06km<sup>2</sup>、人口約21,000人で、平成16年7月に世界遺産登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の対象となる大峯奥駈道の起点の町にあたる。古くより大和の都と吉野地方の結節点として、本町で交わる東西と南北（河川や街道）の軸上を、信仰、文化、経済の流れが通過し、集落の成熟とともに吉野地域の玄関口として役割を担ってきた。

また、町境界線の南側に沿って流れる一級河川の吉野川は、我が国最多兩地域の大台ヶ原山系や大峯山系を源流とし、人々の生活に古来より恵みをもたらしている。豊かな水資源を生かし、地域特産の「桜鮎」をはじめアマゴの釣りやアウトドア等の観光産業が盛んになった。本町は緑と清流に囲まれた良好な自然環境を有している。

一方、交通の利便性の向上により大阪圏主要都市への通勤圏となり、昭和50年代を契機とした住宅開発が進み、人口の増加、急速な産業構造の変化とともに、生活排水による環境への影響が懸念されてきた。特に未処理の生活雑排水が流れ込む支流においては、従来生息していたホタルやメダカが激減している。

このため、当町としては、生活排水を処理するために、平成元年より町の中心市街地から公共下水道事業に着手し、平成15年度からは、公共下水道認可区域以外を対象に個人設置型浄化槽設置整備事業を展開しているが、平成15年度末の汚水処理人口普及率は、57.6%と延び悩んでいる状況である。これらの状況を打破するためにも、市街化地域及びその周辺の水環境に対する問題点を洗いだした総合的な汚水処理施設整備の普及促進と、住民への環境保全意識の向上に向けた啓発が必要である。

したがって、自然と共生したきれいな水の流れるまちの創出といった理念のもと、潤いある吉野川をはじめとした河川の水質を保全し、住民ひとりひとりが水と親しみながら生活できる安心・安全なまち「住みよいまち・おおよど」を創出し、豊かな地域資源を活かした地域再生を目指す。

## (目標1)

污水处理施設の整備促進

(污水处理人口普及率を57.6%から70%に向上)

## (目標2)

まちづくり団体等による観光事業イベントの拡充

(1回/年から3回/年に拡充)

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

住民に対して生活排水対策の必要性について啓発を行い、環境保全意識の高揚を促し、本町に適した環境保全を進めるために、污水处理施設整備事業を行う。

公共下水道整備においては、普及率の向上に繋がる「下淵地区」等の支線を中心に整備するとともに、交付金のメリットを活用した末端管渠の整備を実施し、併せて水洗化の促進を図る。

また、浄化槽整備においては、その施設の種類の個人設置型であることから、住民に、普及促進を図るため町独自に創設した大淀町改造助成金交付制度(水洗便所への改造や排水設備工事に要する資金の一部を助成するもの。)を活用して、整備意欲を高めるとともに、特に、中山間地域の住宅に合併処理浄化槽を整備して、ホテルの宿る小川の再生から、「きれいな水が流れるまち」、「水と親しみながら生活できるまち」、「安心、安全なまち」を創出し、地域資源とする。

### 5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

#### 污水处理施設整備交付金を活用する事業

##### 【事業主体】

- ・大淀町

##### 【施設の種類】

- ・公共下水道、浄化槽

##### 【事業区域】

- ・公共下水道 大淀町下淵・桧垣本地区等(公共下水道認可区域)
- ・浄化槽 大淀町今木・薬水地区等(公共下水道認可区域外)

##### 【事業期間】

- ・公共下水道 平成17年度～21年度
- ・浄化槽(個人設置型) 平成17年度～21年度

### 【事業費】

- ・ 公共下水道 1,417,800千円  
(うち、国費 708,900千円)
- ・ 浄化槽(個人設置型) 82,200千円  
(うち、国費 27,400千円)
- ・ 合計 1,500,000千円  
(うち、国費 736,300千円)

### 【整備量】

- ・ 公共下水道 200 8,950m
- ・ 浄化槽(個人設置型) 7人槽等 200基

#### 浄化槽整備年度別計画

浄化槽 (個人設置型)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計
	10基	50基	50基	50基	40基	200基

なお、各施設による新規の処理人口は下記の通り。

- 公共下水道 下湊・桧垣本地区等で 1,780人
- 浄化槽 今木・薬水地区等で 700人

## 5 - 3 その他の事業

### 浄化槽設置整備を普及促進する事業

(大淀町改造助成金交付制度)

既存のくみ取り便所を水洗便所に改造する費用や、生活雑排水を浄化槽に導くため設置する排水設備工事にかかる費用の一部を助成する事業

## 6 . 計画期間

平成17年度～21年度

## 7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

年度毎に、奈良県大淀町が4に示す数値目標に照らし状況の調査、評価を行い、事業の推進、改善の材料とし、必要に応じて内容の見直しを検討する。また、計画終了後に評価結果を公表する。

なお、整備された汚水処理施設について、水質検査、維持管理等が適切に行われていることについて、状況を把握し、地元自治会等とともに監視をしていく。

**8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項  
該当なし**

**添付資料**

- ( 1 ) 大淀町位置図
- ( 2 ) 住みよいまち『おおよど』地域再生計画図
- ( 3 ) 地域再生計画工程表
- ( 4 ) 地域再生計画の全体像を示すイメージ図